



2026年度予算



2026年度の予算では、近い将来到来する人口減少局面においても、皆様に選ばれる都市であり続けられるよう、物価高対策のほか、子育て・教育・医療・介護・環境・防災・都市づくりなどを中心に、市民生活の向上や本市の発展につながる施策について、重点的に予算を配分しました。

また、「第2期中期財政運営方針（2026～2028年度）」に基づい

て、中長期的に基礎的財政収支（プライマリーバランス）*の均衡を目指し、赤字額の段階的な縮少を図るなど、引き続き、持続可能な財政構造の確立を目指していきます。

*基礎的財政収支（プライマリーバランス）とは
福祉や教育など、さまざまな行政サービスのための経費を、市税などで賄えるかどうかを示す指標で、「借金などを除いた歳入」から「借金返済などを除いた歳出」を差し引いて算出します。

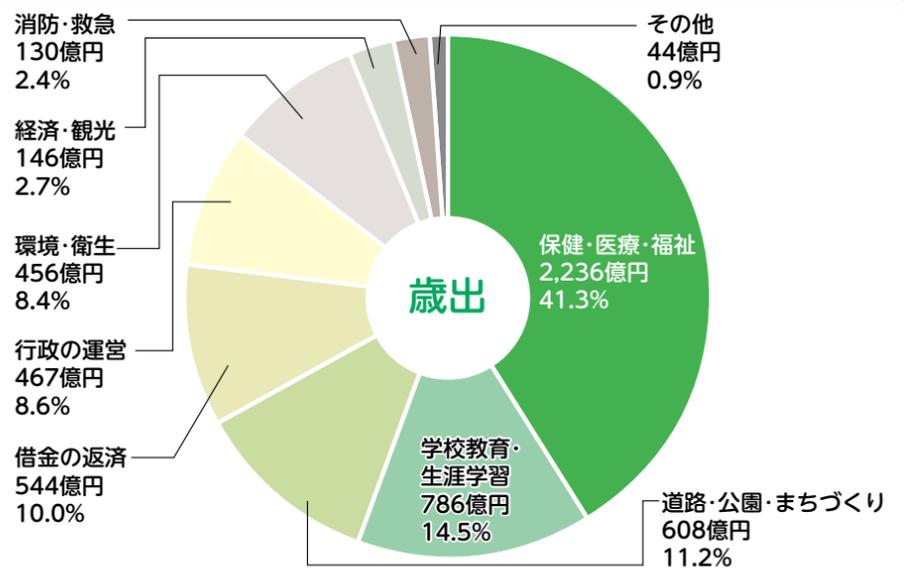
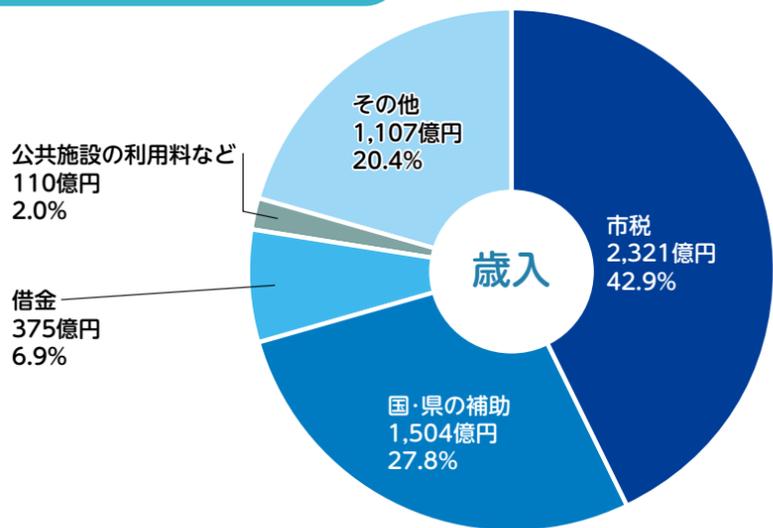
予算規模

総額	1兆209億6,900万円（1.0%増）
内訳	
一般会計	5,417億円（1.7%減）
特別会計	3,749億3,400万円（8.5%増）
企業会計	1,043億3,500万円（8.6%減）

（ ）は対前年度比

一般会計 教育や福祉、土木など市の基本的な事業を行うために設けられた会計
特別会計 国民健康保険料などの特定の収入をもって特定の事業の費用に充てるために設けられた会計
企業会計 独立採算による特定事業の管理のために設けられた会計

一般会計の内訳



当初予算の主な施策

子育て支援・教育施策の更なる充実と地域での安心した暮らしを支える持続可能な高齢者施策の構築

子育てと仕事の両立・学びを支える教育環境の充実や、若者へのサポートや虐待・不登校などの状況にある子ども・家庭への支援を強化。認知症の方への支援など、高齢者の地域での暮らしを支える取り組みを推進。



将来の都市・経済基盤の確立等未来へつなぐまちづくりの推進

中央公園プロムナードの再編や、官民連携によるウォークアブルなまちづくりによる中心市街地の活性化を推進。また、市民会館の再整備、千葉マリスタジアムの再構築、アルティアリー千葉新アリーナの整備支援、新湾岸道路の理解促進に向けた取り組みを実施。



千葉開府900年記念事業による地域への誇りや愛着の醸成と人材育成

今年開府900年の節目を迎えることから、900年にわたって受け継がれてきたまちの魅力を市民の皆さんと共有し、未来へ踏み出す契機とするため、各種記念事業やひとづくり・文化づくりに資する取り組みを実施。



その他の主な事業は【12・13面】へ 問 財政課 ☎245-5075 FAX245-5535